

ふれまち神出通信

神出ふれあいのまちづくり

協議会委員長
神出町自治協議会会長 坂口 勤

昨年が続いて神出町自治協議会会長を務めさせていたことになりました坂口です。引き続き、精一杯努めさせて頂きます。皆様方のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

平素は、神出町の皆様方には神出町自治協議会の諸活動並びにふれあいのまちづくり協議会活動に対し、ご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。書面にてお礼申し上げます。

まずは、令和5年度の各地区の自治会長を紹介させていただきます。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 東 (坂本勝生) | 老ノ口 (西馬忠彦) |
| 南上 (飛鳥日出丸) | 南下 (宮谷善彦) |
| 田井 (西馬昌典) | 古神 (竹中敏勝) |
| 勝成 (久戸雅仁) | 五百蔵 (総毛佑治) |
| 小東野 (川崎隆雄) | 山西 (六田健雄) |
| 広谷 (飯原辰雄) | 北 (坂口 勤) |
| 吉生 (岩本裕司) | 池下 (田中秀實) |
| 新々田 (浅原康行) | 池田 (庄司和男) |
| 神納 (上月 稔) | 上北古 (榎橋克治) |
| 下北古 (中崎和弘) ※4地区が
変わられました。 | |
- 執行部役員
- | |
|-----------------|
| 会長 坂口 勤 (北) |
| 副会長 西馬 昌典 (田井) |
| 副会長 浅原 康行 (新々田) |

ふれまち神出通信発行団体
神出ふれあいのまちづくり協議会

西区神出町田井三四一二
地域福祉センター

発行責任者 坂 口 勤
編集者 浅 原 康 行

会計 田中 秀實 (池下)
幹事 榎橋 克治 (上北古)
監査 久戸 雅仁 (勝成)
監査 竹中 敏勝 (古神)

メンバーで今年度一年間活動させて頂いていただきます。御協力よろしくお願い致します。

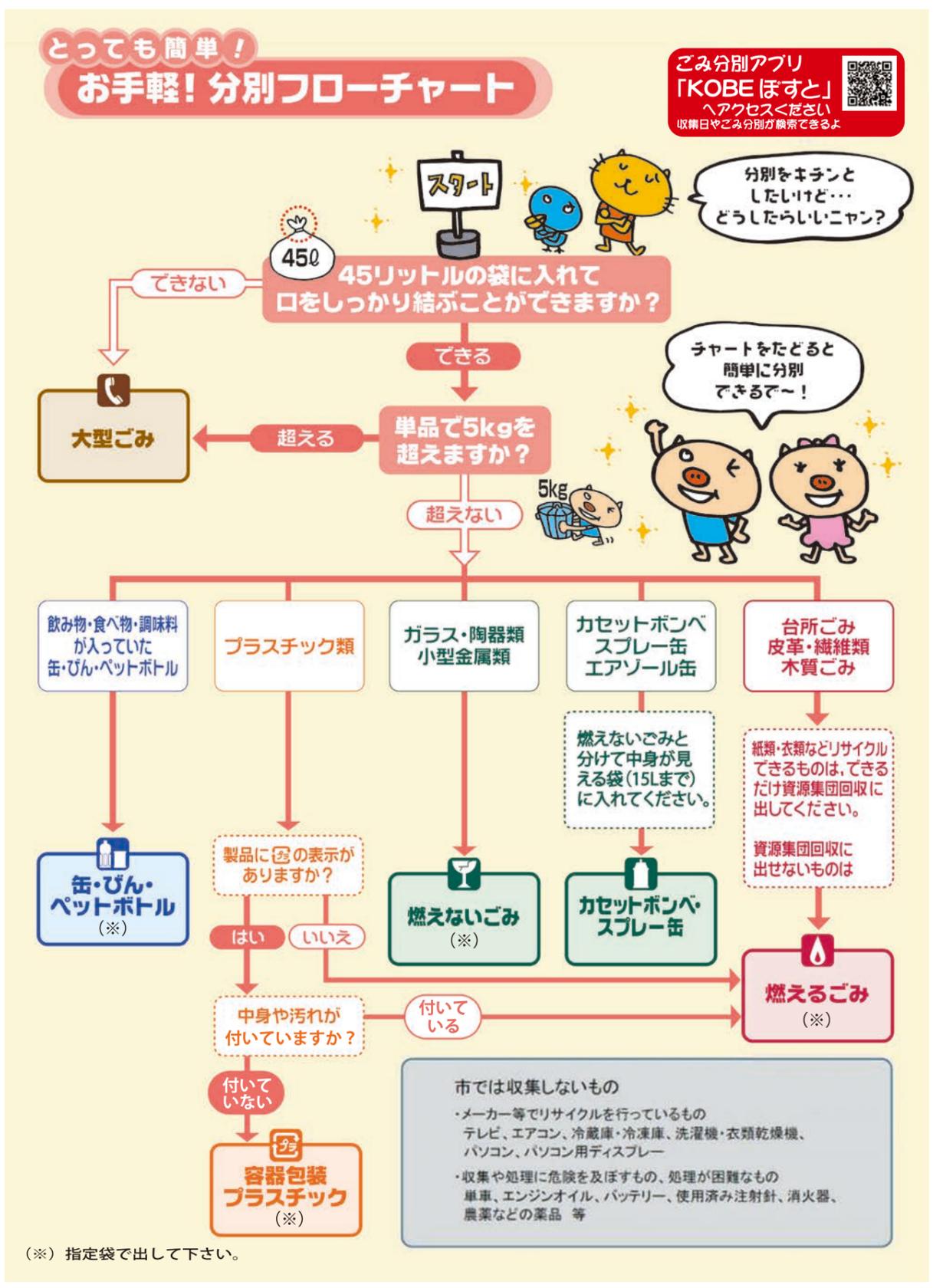
国内ではコロナ禍から丸三年が経ち、感染対策も緩和されつつありますが、海外ではソ連のウクライナ侵略による戦争が一年にも及んでいます。また、トルコでは、大規模な地震が発生し死者が5万人に及ぶ甚大なものとなっています。物価の高騰もありなかなか明るい話題のない状況が続いています。

ふれあいのまちづくり協議会においての活動は昨年、七夕まつり・神出町文化祭・神出の里ウオーク等、ある程度の活動ができ多数の参加を頂きました。実行委員の方々に厚く御礼申し上げます。

本年度も、感染予防対策を講じながら活動して行きたいと考えています。多数のご参加を願います。

神出町自治協議会では、神出町の活性化プランを策定し、様々な取り組みを開始していきたくと考えています。若い方々の参加協力を得て、短期・中長期的な形で一つ一つ課題に粘り強く取り組み、少しずつ、神出町が賑わい・魅力のある地域、子育てをしながら住み続けたい地域となることを願っています。

最後になりましたが、今後の諸活動、様々な取り組みに、皆様方のご理解とご支援・ご協力を宜しくお願い致します。





一年生は外国の先生に日本の昔の遊びと一緒に遊びました。



活かして進めてきた教育活動を今後も育みたいと考えています。ご協力をお願いします。
イングリッシュキャンプ
五年生は外国の先生に英語で学校生活の紹介をしました。

令和五年神出文団の取組みについて 西消防団神出支団副支団長 松村 正己

いつもお世話になりありがとうございます。令和五年新年を迎え、新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、今年には神出支団の行事、表彰式、ポンプ操法大会が再開される予定です。

昨年は神出支団を代表して第五分団小東野班の有志の団員は九月十月の二ヶ月間、毎週日曜日、午前六時から八時まで、ポンプ操法の訓練をしました。

今後の神戸市・兵庫県の大会でも代表する有志たちが素晴らしい成績を残してくれることを期待しています。

令和四年十二月十一日は年末器具点検・一斉放水を実施し、令和五年一月八日に出初式が行われました。二月二六日には神出支団と西消防署の消防隊員と合同で消防現場指揮所と消防団指揮所の連携、早期放水活動の連携、無線でのやり取りなど連携の再確認をしました。



これからの活動は三月五日に自治会主催の防災福祉コミュニティ訓練、四月二日に神出支団ポンプ操法大会が予定され、毎月第二日曜日十時から無線十一時からサイレンテストを行います。

今年に入り建物火災が二件ありました。火元や暖房器具の扱いには十分注意して下さい。また、畦焼きで通行人が火災と通報されることがあります。

ある為、事前に西消防署に連絡してから行うようにして下さい。
皆様の生命・財産を守り、安心・安全のため訓練を頑張ります。
ご支援ご協力の程よろしく申し上げます。



子どもの居場所づくり事業 「エールかんで」について 神出ふれあいのまちづくり協議会「エールかんで」

神出の子どもたちを対象に、食事の提供や学習支援(宿題中心)、遊びの場としての居場所づくりを行うと共に、地域のあらゆる世代とつながり、子どもたちの育ちを支援することを目的として「ふれあいのまちづくり協議会」の中に「エールかんで」を設立して活動しています。

今年度の冬休みに二回実施した活動を報告します。
冬休みの目玉はしめ縄作りで立派なしめ縄が完成しました。中学校のボランティア隊もお手伝いをしてくれました。食事食材も提供して頂くところがありおいくいただきました。ありがとうございました。
次回は春休みで工作や折紙等を予定しております。

神出っ子のためのPTAを目指して

神戸市立神出小学校PTA会長 本郷 雅敏

浅春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

PTA会長をお引き受けて早いものでもうすぐ二年が経とうとしています。私のような者でもなんとかやってこられたのは、PTA本部役員・運営委員さんをはじめ、保護者の皆様、教職員の皆様、そして地域の皆様の献身的とも言えるご努力、ご活躍のおかげであると思っております。本当にありがとうございます。

さて、既にご存じの方もいるかもしれませんが、神出小学校PTAは変わります。学級理事を廃止し、地区理事と本部役員のみとなります。児童がいる家庭は減り、核家族化が進み、共働きの家庭が増え、習い事やクラブに打ち込む児童が増え、保護者の皆様は過去にないほど忙しい毎日を送り、ということになります。

そこで、PTA活動としてもスリム化を行い、本当に必要な活動とは何かを見つめなおしてみよう踏み出すことにしました。

これは後ろ向きな変化ではありません。来年度はこれまでのルールを壊して、作り直す、とても挑戦的な年になります。来年度の本部役員には多少苦勞があるかもしれませんが、それに見合うだけの内容と結果がお渡りできるように努めてまいります。

最後に、神出町の皆様のご協力のもとにPTA活動は成り立っております。今後ともご理解ご協力賜りますよう、宜しくお願いいたします。



しめ縄作り



食事風景

民生委員児童委員の 委嘱のあいさつ 神出地区民生委員児童委員協議会 会長 正井 樹

日頃からの民生関係活動へのご協力・ご支援ありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。

私たちは昨年十二月一日、西神中央ホールで厚生労働大臣から民生委員児童委員の委嘱を受けました。任期は3年間です。

委嘱後、約三ヶ月を経過しましたがその間、一人暮らしの高齢者向けの「会食会」、どなたでも参加できる「ふれあい喫茶」、未就学の乳幼児向けの「子育てひろば かんでっ子」、一人暮らしの高齢者へのクリスマスプレゼント、ふれあいのまちつきき大会等の行事を実施することができました。

これも、神出自治協議会を始めとする神出町の関係者の皆様のおかげです。ありがとうございます。

今後も民児協一丸となって民生関係活動へ取り組みますので、一層のご協力・ご支援よろしく申し上げます。

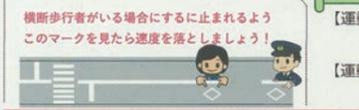
今後の行事は、毎月定例の会食会(第一火曜日)、ふれあい喫茶(第二土曜日)子育てひろば かんでっ子(第三水曜日)を予定しております。該当者の皆様のお越しをお待ちしておりますので、参加よろしく申し上げます。

神戸西警察署から交通安全と特殊詐欺被害防止に関するお願いです。

歩行者のみさなんへ



運転者のみさなんへ



自転車利用者のみさなんへ

- ～自転車安全利用五則～
1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3 夜間はライトを点灯
4 飲酒運転は禁止
5 ヘルメットを着用

春の全国交通安全運動

- 【運動期間】 令和5年5月11日(木)～20日(土)
○子どもを始めとする歩行者の安全の確保
【運動重点】 ○横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上
○自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

運付金があるからATMに行つては 詐欺 です!
未納付金があるから〇〇カードを買つて



令和四年度 ご挨拶および近況報告

神出中学校 PTA会長 萩原 誠

平素よりPTA活動に、ご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

何もわからないまま会長としてやってこれたのも、教職員様・本部役員様をはじめ、地元の皆様にご支援・ご協力を頂いたおかげだと思っております。

学校行事としては、昨年も体育祭が無事開催され、保護者競技(玉入れ)が開催できたこと大変ありがたく思っております。参加されました保護者の皆様ありがとうございました。

また、文化祭では恒例となっております、PTA主催の「野点」を開催致しまして本格的な抹茶と和菓子や、生徒や保護者の方に体験していただきました。

一年生では初めて抹茶を飲まれる生徒もおり、苦さと美味しさを堪能されたかと思えます。

小学校での「ふれあい祭り」では本部役員・学年役員・ボランティア隊も参加させて頂きました。コロナ禍ということで飲食もかなり制限されていましたが、子供たちに楽しんでもらえるように何度も話し合い、なんとか出店することができました。



ストラックアウトにつきましては、経年劣化でかなり傷んでいましたのでリニューアルしました。的も少し大きくなり、子供たちだけでなく役員の方も使いやすくなったと思います。

ふれあい祭りで初めて制服のリサイクルを実施したところ、小学6年生の保護者の方から大好評でした。

ご家庭で眠っている中学校の制服・体操服・カバン等がございましたら、中学校へ持参頂けますと助かります。

通学路の古くなってしまった注意看板をリニューアルしました。通学路を、朝夕の通勤の抜け道として車やバイクが走ります。危険な箇所につきましては引き続き看板の設置や、警察の方に協力して頂き子供たちの安全のため改善できるように努力してまいります。

PTA会長として、自分なりに子供たちが楽しく充実した学校生活を過ごせるようにと、微力ながら努力してきたつもりです。また、PTAという立場で子供たちの成長を一番近くで見ることができ、新たな発見や自分自身成長させられることもあった2年間でした、ありがとうございます。最後にになりましたが、今後ともご理解・ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



不易流行

神戸市立神出小学校長 中山 雅仁



「不易流行」のルーツは、俳人の松尾芭蕉の理念として、門弟が書き記した言葉です。芭蕉が「奥の細道」の旅をする中で体得した概念だと言われています。芭蕉は、俳諧上達の秘訣を聞かれ、「過去の自分に飽きることだ。」と答えたそうです。常に努力を重ねつつ、さらに新境地を切り開いていこうとするからこそ、そこに進歩があり、物事の根本・本質により近づけるとの考えです。「不易を知らざれば基立ち難く、流行を知らざれば風新たに成らず。」とあり、「不易流行」は「不易」永遠に変わらないこと、「流行」変わり続けること。「もどちらも大切で、基は一つであると述べています。

現代日本語では、経営理念などの伝統的な本質をふまえながら、時代の変化に応じて新しい事業分野や手法などを取り入れていくことを指して使われていることが多いようです。教育現場でも、不易とは「どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変わらない価値のあるもの」であり、流行とは「社会の変化に関心をもち、時代の変化とともに変えていく必要があるもの」と考えられています。神出小学校でも、現在の社会情勢を見極めながら、教育活動を進めています。

新型コロナウイルス禍では、社会での人と人の交流が制限された閉塞感のある状態で、目の前の事象(流行)に流されていた3年間であったように思います。いよいよ新型コロナウイルス感染症が5類への移行に伴い、流行に踊らされるのではなく、不易の教育を進めていく必要があるという思いになりました。この芭蕉の言葉について考えたとき、「流行不易」も「流行」にも重きを置きけれども、子供たちにとって必要な時代を超えて変わらない価値のあるものを求めて、活動を進めていかなければならないと強く感じています。地域の方々との結びつきを

担任地区	東	名 前	備 考
老ノ口	藤本 陽子	新任	
南上	長田 美伸	新任	
南下	飛鳥 日出丸	新任	
田井(上地区)	後藤 公一	新任	
田井(下地区)	西馬 昌典	新任	
古神・勝成	西馬 江利子	新任	
五百蔵	江原 耕作	新任	
小東野	長谷川 明	新任	
山西	汐谷 治子	新任	
広谷	胸永 捷之	新任	
北	坂口 勝昭	新任	
吉生	近藤 威夫	副会長	
池下	石井 豊吉	新任	
新々田	菊池 千保美	新任	
池田	高原 明子	新任	
神納	正井 樹	会長	
上北古	高見 美津子	新任	
下北古	古川 妙子	新任	
主任児童委員	足立 温子	新任	
主任児童委員	谷端 美砂子	新任	

神出地区民生委員児童委員協議会委員



クリスマス会



レクリエーション



餅つき大会



元気で楽しい老後を

神出かたこ会 西馬 浩三

平素は何かとお世話になっていきます。神出かたこ会は、「みんなと、元気に、楽しく」高齢期を歩んでいきたいと活動してきました。神出かたこ会は、特に会長など役員のみならず、年齢を問わずに単位クラブが減ってきて、現在は五クラブ、来年度はさらに厳しい状況です。会員の中には、ブランドゴルフ・輪投げ・ゲートボール・手芸・書・写真・絵画など多彩な趣を生かしたい。地域の神社・公園・かたこ園の世話をしたい。出会いと交流を深めたいという願いがあります。こういう要求をかたこ会(老人クラブ)で集まり、楽しんできました。楽しみ七分・奉仕が三分といったところでしょうか。でも後継者不足で高齢化して、次期の役員の当てが無く神出一本にするかというところなんです。ふれまち協議会からいろいろ助言いただきながら、単位クラブの方向をまとめて神出かたこ会のできることを探っています。

「厳しく、温かい声掛けをお願いします。」

神戸市立神出中学校 校長 長井 功校

いつも中学生の生徒たちを温かく見守ってください、感謝申し上げます。心配されたインフルエンザの流行もなく、ほとんどの生徒たちは元気に学校生活を過ごしています。「Be Kandee」の文字の入った服を着た「神出っ子ボランティア隊」も、様々なところで活躍させていただいています。ところで、子育てには子どもの成長の時期によってポイントがあり、乳児期は「愛すること、幼児期は「しつけること、少年期は「教えること、思春期は「考えさせる」ことが大切だといわれています。中学生の時期は、身体的には第二次性徴がみられ、精神的には第二次反抗期に入ります。子どもでもなく、大人でもない、「中間人」です。個人差も大きいのですが、中学校では、一人ひとりに応じて、「教える」とともに「考えさせる」教育をすることを大切にしています。大寒を過ぎたこの寒い時期に植木に寒肥を施さなければならぬのと同じように、子育てにおいては、中学生の時期が最後のチャンスと捉えて口うるさくしなければいけないと思います。「彼岸過ぎたの麦の肥、二十歳過ぎたの子に意見」という譬えもあります。どうぞ、遠慮することなく、神出の中学生を見かけたら、声をかけてあげてください。優しい眼差しで、厳しくも温かいお言葉を願っています。

